

ユニセフ講座報告



ユニセフ（UNICEF：国際連合児童基金）は、すべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、190の国と地域で活動しています。ユニセフの活動の指針は、「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」の精神に基づいています。

2018年9月29日、世界の子どもたちの状況やユニセフの活動、子どもの権利条約と持続可能な開発目標 SDGs について学ぶユニセフ講座を開催。20名が参加し新しくボランティア登録された方もいました。

はじめに、東ティモールの子どもたちについてユニセフスタディツアーに参加した遠山あゆ子さんの報告では、教育と水と衛生に関して学校や村を訪問し、小学校でも18歳位の生徒もいたり、石鹸で手洗いの大切をなどを教えていた様子など。人口の半分が18歳未満という東ティモールの子どもたちの明るい笑顔が、この国の未来を示唆しているように報告されました。



世界の子どもたちは今・・・ユニセフが発表した最新情報から学びました。

- ★世界で学校に通っていない5歳から17歳の子どもの数は3億300万人、その3分の1に相当する1億400万人は、紛争や自然災害の影響を受ける国にいらしている。
- ★子どもの死亡に関する報告書 5歳未満で亡くなる子ども、年間540万人その約半数は新生児。
- ★世界の飢餓人口 2017年度8億2100万人。一方深刻な成人肥満。

ワークショップでは、子どもの権利条約40条について、グループごとに輪読しあらためて子どもの権利条約について学ぶことができましたと感想が寄せられた。

ロヒンギャ難民のワークショップ

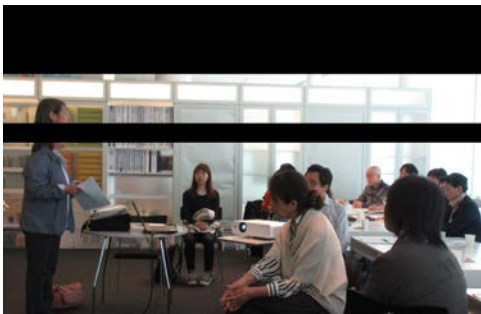
子どもの権利条約の〇条が問題・・・みんなで出し合ったカードで子どもの権利ツリーに貼り付け、発表し合いました。また、ユニセフが現地で支援活動していることも確認しました。

持続可能な開発目標 SDGs ってなあに

2015年に国際社会が一致して国連で採択した「持続可能な開発目標 SDGs」は2030年までに、私たちがどのような課題を解決して持続可能な世界を実現できるか、17の目標の中で何ができるか、意見交換しました。

みんなの感想から

- 子どもの権利条約は、守られて当然のことなのに守られていないことが多すぎるとことに気づきました。世界がみんな同じようなことに気づき前に進む(権利を守る)ことができるように、自分自身がやれることを改めて考える機会になりました。
- 戦争や紛争がないこと、平和な世界であることがまず基本だと思う。生きる権利(命を守る権利)が保障されなければ何も始まらない。先進国と後進国の格差を思い知らされた。
- 今回この講座に参加したことでこんなに身近に世界が抱える問題について考えて行動に移している方がいるということに気づかされました。これからは私も一員として活動に積極的に参加していきたいと考えています。
- これからの時代を担う子どもたちにとって平和、安全、平等などが保障されるよう、今の大人がSDGs達成に向けて努力しなければならない。



子どもの権利ツリーについてグループ発表



生きる権利



育つ権利



守られる権利



参加する権利

～子どもの権利条約」子どもの権利は大きく分けて4つ～